

# 1.5°Cライフスタイル ワークショップ in 北九州

2021年11月～2022年1月  
2022年12月～2023年1月  
2023年12月～2024年1月

## はじめに

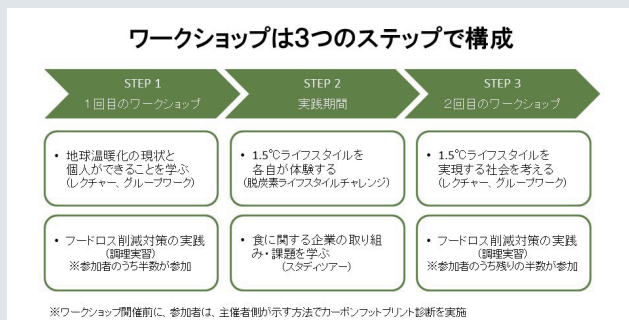
九州の北端に位置する産業港湾都市・北九州市は、20世紀半ばから後半にかけて深刻な公害に見舞われたものの、産官学民の連携で克服し、グリーン成長を遂げました。現在は、その過程で培われた社会・技術基盤を活かし、2050年カーボンニュートラルに挑戦しています。その関連政策では生産側の対策のみならず、消費側の対策も重視しています。こうしたことを背景に、IGESは、2021年度から、1.5°Cライフスタイルワークショップを開始しました。第2回目以降は、学生（中高生、大学生、大学院生）を対象に、福岡県、北九州市、北九州市立ユースステーション、生産や消費に係る地域のステークホルダーと連携して開催しています。

参加者は、レクチャー・グループディスカッション・各種体験といった多彩な内容（ワーク）から構成される同ワークショップに参加することで、次のような多角的な視点から気候変動対策を考えられるようになります。

- ・ ライフスタイルに着目することで、気候変動問題を自分事として捉えられる。
- ・ 自身の行動や選択によって自身のカーボンフットプリント削減に繋がることが分かる。
- ・ 1.5°Cライフスタイルの実践から、カーボンフットプリントを減らしながら地域も豊かになるような社会システムのあり方についても考えられる。

## 1.5°Cライフスタイルの活用

このワークショップは、脱炭素ライフスタイルオプションカタログの中から、学生にとって実践しやすい「食」のオプションに焦点を当てて設計しています。ワークの構成は以下の通りです。



STEP1では、気候変動に対して個人ができることを学びます。環境活動を行っている県内の若者からのお話や気候変動問題の国際的な動向や科学的知見に関するレクチャーから始まり、カーボンフットプリントの概念を理解するグループワークを行います。また、各自のカーボンフットプリント診断シートと脱炭素ライフスタイルオプションカタログを確認しながら、脱炭素ラ

イフスタイルチャレンジで取り組む脱炭素行動を決定します。

STEP2では、脱炭素ライフスタイルチャレンジに各自で取り組み（2週間程度）、結果や気付きの点を記録します（できた○、できなかった×、機会がなかった△と結果と気づきを書く2ページ程度の記録シートを主催者が提供）。

STEP3では、社会へ視野を広げます。地域の関連政策などをレクチャーで学び、グループワークで脱炭素ライフスタイルチャレンジの結果を共有し、継続しづらかった取り組みを継続しやすくする地域の環境などについて意見を交換します。さらに、SDGsの視点から、脱炭素行動を社会の文脈に置き、複合的なメリットやトレードオフ、相関を考えます。最後にグループワークの結果を全体に共有し、参加者はアイデアをグラフィックレコーディングや寄せ書きアプリなどにまとめて終了します。

なお、このワークショップでは、地域のステークホルダーから、より実践型の学びを提供いただく、調理実習やスタディツアーなども取り入れています。



1.5°C Lifestyles  
脱炭素型のライフスタイル

<https://www.iges.or.jp/jp/projects/1p5deg-lifestyles>

公益財団法人地球環境戦略研究機関（IGES）

〒240-0115 神奈川県三浦郡葉山町上山口2108-11  
Tel: 046-855-3700 E-mail: [iges@iges.or.jp](mailto:iges@iges.or.jp)